

美の国キッズ&ユース・カレッジ大潟キャンパス



三倉鼻からの眺めは最高！

美の国キッズ&ユース・カレッジ大潟キャンパス「めざせ！ジュニアマイスターズ（歴史編）」が8月10日、大潟村を主会場に開催されました。

小学校3年から6年の児童13名が大潟村とその周辺を回り、大潟村の歴史を確かめました。

最初に大潟村干拓博物館で大潟村の歴史を学びました。昔は日本で二番目に大きい湖でしたが、干拓により大潟村が生まれた話に、子どもたちは驚いていました。そのあと、バスで干拓記念碑や水位標、南部排水機場などを見学しました。午後は八郎潟町にある三倉鼻に登って、現在の大潟村を眺めました。

八郎潟町にある採石場では、あいにくの雨でゆっくり見学できませんでしたが、すり鉢状に掘り進んだ採掘現場は壮観でした。ダンプカーは大きいもので一度に60トンの石を運べると聞いた子どもたちは興味深そうに見入っていました。

大潟村に戻った子どもたちは「日本一低い富士山（大潟富士：海拔0メートル）」や、10度単位で交わる日本でただ一つの「経緯度交差点」を見学しました。身近な大潟村に、日本一や日本唯一があることを知って子どもたちの表情は誇らしげでした。

干拓博物館で「ジュニアマイスターズ認定試験」が行われ、真剣な表情で試験に挑戦していました。

見事に全員が合格し、スタッフから認定証が手渡されました。子どもたちからは「ジュニアマイスターの試験に合格できてよかった」といった感想が寄せられました。



日本一低い富士山の前でパチリ！



ジュニアマイスターズ認定試験に挑戦！



ジュニアマイスター合格おめでとう！

美の国キッズ&ユース・カレッジ大仙キャンパス

キッズ&ユース・カレッジ 大仙キャンパス「夏休みわくわく体験教室」が、7月26日(火)、8月2日(火)、8月9日(火)、夏休み中の3日間に渡って大仙市内の各地で開催されました。

この講座は、昨年度の地域マイスター養成講座の修了者が企画し、運営したものです。

7月26日に埋蔵文化財センターで開催された「石器づくりにトライ!」では、9名の小学生が悪戦苦闘しながらも石器作りに挑戦しました。全員初めての体験でしたが、完成した石器に、満足した様子でした。



角間川の盆踊りにチャレンジ



笹巻きって巻き方が難しいね

8月2日は、大曲交流センターで「大仙の盆踊りにチャレンジ!」が開催されました。25名の小学生が大仙の盆踊り「角間川盆踊り」「花火の街大曲」にチャレンジしました。

スタッフは、歌って踊って子どもたち一人ひとりと触れ合うことを合い言葉に活動し、子どもたちからは、「角間川盆踊りはとても難しかったが再度チャレンジしたい。」と意欲的な声が聞かれました。

8月19日に学校給食センターで開催された「大仙の郷土料理にアタック!」では、13名の小学生が大仙の郷土料理(笹巻き、おやき)に悪戦苦闘しながらもチャレンジしました。

子どもたちは、初めての料理に緊張しながらも、スタッフと一喜一憂しながら世界で一つしかない笹巻きとお焼きを完成させました。笹巻き、おやきの完成品に子どもたちの表情は満足感でいっぱい、「笹巻きとおやき以外の大仙の郷土料理を作りたい。」等の感想にスタッフもうれしそうでした。

美の国キッズ&ユース・カレッジ八峰キャンパス①

8月6日(土)に美の国キッズ&ユース・カレッジ八峰キャンパス①「八森の海の探検 岩場を観察しよう」が八峰町のあきた白神体験センター周辺を会場に行われ、12名の親子が参加しました。

海辺の自然観察では、2班に分かれて白神体験センターの裏手にある海辺を観察し、観察指導員の先生から貝や海藻の種類について学びました。

八森の海はきれいに澄んでいて、小さな魚が集団で泳いでいる姿や、大きな蟹が岩場を歩いている姿に、子どもたちは大きな歓声を上げていました。

また、昼食で作る味噌汁の具となる貝を拾い集めました。みんなでかまどを作り、自分で捕った貝を使った味噌汁は最高の味で、子どもたちも「おいしい!」と笑顔で食べていました。

第2回「峰浜の秋を食べるゾ!」は当初9月24日(土)に開催予定でしたが、9月23日(金)に開催日が変更となりました。



どんな生き物がいるかな?